

# 平成29年度第2回恩納村総合教育会議

## 会議録

日時 平成29年10月20日 9時30分から11時30分

場所 恩納村役場3階会議室

構成員 出欠状況（出席…○・欠席…×）

職名	氏名	出欠	職名	氏名	出欠
村長	長浜善巳	○	教育委員	津波古眞一	○
教育長	當山欽也	○	教育委員	喜久山花菜子	○
委員	大城肇	○	教育委員	吉山佳子	○

### 出席職員

学校教育課長	石川司	○	総務課長	新里勝弘	○
社会教育課長	大城保篤	○	行政係長	宇江城悟	○
主任指導主事	稲福盛也	○	学校教育係長	喜久山隆	○
指導主事	永川幸徳	○	施設係長	大城保洋	○
S S W	比嘉春奈	○	学校教育係	宮里祐太郎	○

開会 9時30分

### 村長（長浜善巳）

みなさん、おはようございます。今年第2回目の恩納村総合教育会議を始めてまいりたいと思います。日頃は恩納村の教育行政に多大なるご尽力いただき、感謝申し上げます。10月に村内5校におきましては、運動会を無事終了することができました。私も、5校の小中学校の運動会を見てまいりましたが、子どもが少なくなったというのを感じました。恩納校は比較的人数が多いですが、他の4校においてはとても少なく感じ、今後中学校統合で中学校が無くなった場合どうなってしまうのかと思いました。それについて校長先生とも話をしましたが、今後は地域も交えて学校作りをしていかないといけないだろうとおっしゃっておいりました。今回の議題にもあります、中学校統合についてですが、恩納村の教育行政の転換点になるであろうと思っています。議題は全部で3点ありますが、みなさまと共に協議し、議論を深めながら共有してまいりたいと思っています。では、みなさん今日もよろしくをお願いします。

それでは、議案第1中学校統合に向けた事務局体制について関係職員からの説明をお願いします。

### 学校教育課長（石川司）

#### （中学校統合に向けた事務局体制について）

### 村長（長浜善巳）

説明ありがとうございました。それでは同議案に関して不明な点、具体的説明を要する所がありましたらお願いします。

それでは委員の方から意見をお聞きしたいと思います。意見のある方はお願いします。

### 委員（津波古眞一）

校名・校章・校旗・校歌が12月までに決定するとありますが、3カ月もないですが、決定することはできるのでしょうか。

**学校教育課長（石川司）**

校名・校章・校旗・校歌については平成30年4月から約1年8カ月ありますので、12月を待たずに決定することも想定しております。この期間については早め早めの作業を行って、最低でもこの期日までには終わるということで、場合によっては平成30年度中に終わる場合もあります。

**委員（大城肇）**

教育課程等に関する事とありますが、詳しく説明をお願いします。

**学校教育課長（石川司）**

詳細についてはまだ決まってははいませんが、我々が中学校統合に向けて平成23年度答申を受けた際に、大きなみだしがありました。「理科教育」、「第二外国語」といったものがありましたので、そこを中心に学校の先生方やOISTも含めて中身について詰めていければと思っています。

**委員（喜久山花菜子）**

PTA 部会についてですが、現役のPTA 役員が中心だと思いますが、歴代のPTA 役員の方々もいい意見や地域について詳しく知っている方々が務めていると思います。そういった方々も含めてのPTA の部会なのでしょうか。また、募集はどういった形でかけるのでしょうか。

**学校教育課長（石川司）**

今おっしゃったように現役、過去のPTA 役員も含める予定です。各部会は公募枠を設けようと思っています。我々が選考した部会のメンバーに加えて公募枠を設けることで広く意見を取り入れられればと思っています。

**委員（津波古眞一）**

先ほどの校名・校章・校旗についてはそこまで時間はかからないと思いますが、校歌については曲と詞がありますので、村内・県内から広く募集をするのか。または委託をするのか等どのように考えていますか。

**学校教育課長（石川司）**

今津波古委員がおっしゃったように校名・校章・校旗については早いと思います。校歌については、恩納村にゆかりがあるような作詞・作曲ができればと思っています。過去の校歌について見ていきますと、当時の校長先生が作詞をするような流れになっていたようです。最近本土の方では歌手にお願いをしている学校があったりしますが、恩納村にゆかりがある渡久地先生の関係者や子弟であったりも含めて検討し、村にゆかりのある校歌にできればと考えております。部会の中で色々な意見ができればと思っています。

**委員（喜久山花菜子）**

各部会に関して、村民の方々からぜひ参加をしたいという方々もいらっしゃると思いますが、どのように考えていますか。

**学校教育課長（石川司）**

構成メンバーの人数の枠は決まるのですが、そこに参加したい、意見を言いたいというのはパブリックコメントを利用して各部会単位で集約していきたいと思っています。場合によっては今ある各校区ごとでの協議もお願いするかもしれません。

**村長（長浜善巳）**

今の件については、恩納村には今は名称を変えています、村おこし協議会というのがあり、村内の各種団体が参加をしております。そのみなさま方も中学校統合の話し合いに積極的に参画していきたいという意見がありますので、この方々も部会に関わってくるであろうと思います。

#### **委員（吉山佳子）**

組織に関わる方々は普段から村の行事や運営に関わっている方が多いと思います。一般の方々に進捗状況をどのように伝えていって、上層部だけではなく底辺の方々の意識を高めていくのが大事だと思います。その点の組織の広報の方法や対策はどのようにお考えですか。

#### **学校教育課長（石川司）**

今ありました周知の方法ですが、各部会だよりを作成し学校へ配布したり、広報へ載せて周知していきたいと思っています。

#### **委員（吉山佳子）**

生徒交流に関しては書かれていますが、PTA の役員外の交流といのはどの程度行われているのが気になります。中学統合した際に、5つの校区の子どもたちが集まってきた時に最初から仲良くできるのか、いじめだとかそういう心配がないのだろうかという意見がありました。その混乱の中に子どもたちを送り込むよりは、いっそ私立の学校へ子どもを入れた方がいいのではないかと声もありました。そうならないためにも、統合中学校の魅力をアピールしたり、保護者の方の心配を無くしていく、または軽減していく方策も必要と思うのですが、いかがでしょうか。

#### **学校教育課長（石川司）**

生徒交流に関する内容について現在想定しているのが、開校前に一緒にできる体育の授業を5校合同でできないかであったり、幼稚園においても恩納幼稚園と安富祖、恩納幼稚園と仲泊幼稚園いう風に小さいころから顔を合わす機会を増やしていけないか。今の小学校6,5,4年生がその時に中3、中2、中1になりますので、そこにポイントを絞って事前に合同で何かできるものがないかということ考えています。さらには、小6の修学旅行を一緒にできないかをこの部会の中でも詰めていって、各学校で顔を合わせる機会をどんどん増やして、開校初年度に問題がないように進めればと思います。以前他の地域で統合した中学校では1年目が少し荒れたという話があって、そこでは玄関に各学校の当時の制服を置いたり、その学校の特色であったものを飾ったりという手立てを行ったと聞いています。そこを参考にしながら、今ある5校の特色を残しながら新しい学校に移行できればと考えています。

#### **委員（喜久山花菜子）**

各部会によって必要なものが出てきた場合にはその他で行うのか、または増やしていくということですか。

#### **学校教育課長（石川司）**

各部会の最後にその他と入れてあります。さきほど広報関係の話もあったので、これは総務部会のその他の部分、もしくは学校教育係と一緒にやっていくという解釈になります。

#### **村長（長浜善巳）**

進めてまいります。最初にありました中学校統合準備室が来年度の4月から進めていきますが、村の行政といたしましても、強力にバックアップしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。それでは同議案の協議調整に関しましては、関係課と調整をして今年度内に条例、規則等を整備して事務局体制を整備するというところでよろしいでしょうか。

(異議なし)

**村長（長浜善巳）**

付議案件 1 番については承認されました。続きまして、議案 2 の恩納村立喜瀬武原幼稚園の休園についての協議を行いたいと思います。それでは関係職員から説明をお願いします。

**学校教育課長（石川司）**

(恩納村立喜瀬武原幼稚園の休園について)

**村長（長浜善巳）**

ありがとうございます。同議案につきましては、県内外においてもとても課題になっている事案でありますので、委員のみなさまの慎重な審議をお願いしたいと思います。それではご意見のある方はよろしくお願ひいたします。

**委員（津波古眞一）**

石垣市と宮古島市の資料がありますが、本島内ではそういった状況はないのですか。

**学校教育課長（石川司）**

本島内でも下限を設けている市町村もあると思いますが現在調査不足であります。この石垣、宮古島については幼稚園を閉園した際にとっても距離ができています。資料にもあるのですが、保護者から意見があったという新聞記事も載っています。なぜ 5 人なのか、1 人でも開けてくれとう意見があったというのがありました。保護者、地域の理解を得て開園、閉園を協議していければと思います。

**委員（津波古眞一）**

安富祖幼稚園に行った場合、安富祖小学校へ入学する可能性があるという話でしたが、条例等での問題はないのでしょうか。

**学校教育課長（石川司）**

小学校の場合は校区を超える際には手続きが必要になってきます。校区外の手続きの内容につきましては、小学校 3 年までは共働きで留守宅なため、祖父母のいる校区へ通学等色々な項目があります。この場合はどの項目にもはまりませんが、その他の教育的配慮に当てはまると考えていますが、今後協議が必要になってくると思います。

**委員（津波古眞一）**

そのまま安富祖小学校へ入学してしまうと、現在少ない喜瀬武原小学校の人数が余計に少なくなってくると思いますが、地域の方々から異論が出るのではと気になりますね。

**学校教育課長（石川司）**

小学校の存続に関わることでありますので、協議は必要だと思います。小学校の部分についてはこの場でどうという風に説明できる状況ではありません。あくまでも幼稚園の休園についてで、想定をしているということですね。

**委員（大城肇）**

区長常会の資料の中に入園希望者から幼稚園の休園の決定なのかという訴えがありますが、これは去年ののですがその時点で決まっているということですよ。

**学校教育課長（石川司）**

おそらく今手元にある区長常会の資料については、昨年度定例教育委員会の中で決定した平成 29 年度の休園決定だと思います。休園については定例教育委員会で行うのですが、今は休園の下限についてルール化について協議できればと考えています。

## 委員（大城肇）

今上限下限と出ていますが、何を基準に決めていますか。

## 学校教育課長（石川司）

恩納村については30名が上限となっていますが、小学校の定数から持ってきたものだと思います。下限については文科省が指定をしていません。下限がないので、果たして1名の園児と1名の教員で幼稚園教育が成り立つかというのが課題になると思います。何名から集団として幼稚園教育ができるかというのは文科省の定義がないので、ここで協議をしていければと思います。人数を設定するからには学校、保護者、地域に説明責任を果たせるような理由でできればと思います。幼稚園教育の中ではある程度説明をすることはできますが、文科省が示した数字ではないので、総合教育会議の中で協議決定できればと思います。

## 主任指導主事（稲福盛也）

保護者のニーズと地域のニーズがありますが、保護者のニーズも二通りあると思います。幼稚園に教育を求めるのか、それとも働いている間預かってほしいのか。厳密に分けると、教育を求める場合には幼稚園で、預かってほしいという場合には保育園が適当だと思います。今の流れはこの2つを合体させた認定子ども園というのがありますが、まずはこのニーズを確認することが必要かと思いません。地域の場合においては、幼稚園の子どもたちというよりは地域から幼稚園がなくなるのが寂しいというのがあると思います。これはどちらですかという風には聞けないと思うので集約するのが難しいと思いますが、まず一番なのは保護者の意見、さらに行政側が考えないといけないのが、この子どもたちがここにいた場合に将来どのようなになるかです。統合の一つの観点となるのが、小規模校で育ってきた子が高校の多人数になった時になかなかそれに耐えきれない、小規模の中で大事に育てるのもいいけれども、この子の将来を考えたときにどちらがいいのかまで議論ができたらと思います。まずは喜瀬武原区の対象のお子さんを持った保護者が何を望んでいるのかを考慮しながら検討するのがいいと思います。

## 委員（喜久山花菜子）

人によって考え方や価値観が違うと思うので、保護者からしたら外からの刺激をもう少し増やして、色々な視野を広げてもらいたい、クラブ活動に関してもバスケットができるぐらいの人数があったらと色々なうらやましい私たちの見えないところの現場の先生方が感じている部分の意見というのはとても参考になると思います。実際に育てる側に関しては費用面の不安も

## 学校教育課長（石川司）

さきほどの恩納村の幼稚園管理規則では1名でも開園しないといけない規則になっていますが、なぜ2カ年休園ができているかと言いますと、幼稚園の入園申込を受けて喜瀬武原区に住む幼稚園児がいる保護者へ直接連絡を取って、喜瀬武原の入園についてやり取りを行っています。5人以下になりましたから休園ですということではなく、保護者、地域に理解を求めて休園ということにしています。

## 教育長（當山欽也）

今回は5人ということで下限を設けようとしています。本来は10名以上の方が望ましいですがそれでは厳しいので、他の地域のものも参考にして5名という提案をしています。確かに地域の方々の意見もあると思いますが、保護者の意見も十分に聞いて考慮して進めていかなければと思います。

## 委員(吉山佳子)

規則として定める場合、かなり弾力性のある規約にしてもいいのかなと思います。今のように保護者の方々と1対1で相談をした上で、こちらの政策も訴えていくというのはいい対応だと思います。例えば石垣市の第4条を参考にしながら、弾力を持たせるというのもいい方法かと思いました。この規則を作った時代というのは子どもたちがたくさんいて、入園者が1,2人という状況ではなかったと思うので、今まさに特別な理由の時代に来てしまっているのかなという気はします。それに対応した柔軟性は必要だと思います。先ほど稲福先生からあったように、保護者のニーズを確認することが大事であって、保護者の方々に幼稚園教育がどういうものかを理解して頂く努力も必要かと思います。

## 教育長(當山欽也)

今この規則にある特別な理由というのはそういったことではなく、30人の定員で31人来た場合に1学級で行うというものだと思います。決められているのは上限ですので、そういう解釈になると思います。

## 主任指導主事(稲福盛也)

うるま市の統合の際にどうしても譲らなかったことは目的です。距離や大きさではなく、目的はあくまでも子どもたちのため、今の場合であれば幼稚園児のためにどうなのかといことは外してはいけない。幼稚園ですので、幼稚園教育の目的が本当に達成されるかどうか絞って話をすると伝わるのかなと思います。幼稚園は意図的に遊びを仕組んで教育をするのが大きな課題なので、何人から集団的な遊びとなるのかなというところを説明していくといいのかなと思います。もう一つはへき地教育という立場から考えると、小規模校とうのは1クラスできるのが小規模校といえます。今回の場合は極小規模校ととらえられ、さらに極小規模校のメリットデメリットを話していくと分かりやすいと思います。果たして2,3人で遊びながら目的を達成できるのかどうか、それが子どもたちのためになるかどうかを議論して頂くといいのかなと思います。

## 村長(長浜善巳)

私からもコメントしたいと思います。恩納村は少子化が進んでおり、条例もそれを想定していなかったらと思う。その中で、若者の定住化をはかるための取組みも行っているのですが、それ以前にもこういった問題が出てきました。少人数、多人数にした場合のメリットやデメリットがありました。それに対して子どもの生きる力を集団生活を通して育むこともとても大切だと思います。1番重要なことは保護者に要望や意見を考慮して、慎重に進めていければと考えています。少し休憩に入ります。

(休憩)

## 村長(長浜善巳)

それでは再開いたします。  
皆様方からたくさん意見が出てまいりました。これは慎重に取り計らっていきたいと思います。今回皆様方から出た意見を尊重しながら、事務局から出ています提案に則って今後は喜瀬武原区での説明会を行って進めてまいりたいと思いますが、それでいかがでしょうか。

## 教育長(當山欽也)

5名という数字を出してみても、保護者の方々へも説明を行っていき了解を得られれば教育委員会で

規則改正を進めていきたいと思っております。あくまでも保護者の同意を得て進めていきたいと思っています。

**村長(長浜善巳)**

委員のみなさまよろしいでしょうか。

(はいの声)

**村長(長浜善巳)**

大変重い議題ではありましたが、今承認頂いた事を教育委員会担当課が進めてまいります。今後の教育委員会定例会でも議論をしていただきたいと思います。次に議案 3 番その他情報交換及び意見交換を行いたいと思います。はじめに総合教育会議継続審査中の事項について確認を行いたいと思います。事務局から説明をお願いします。

**学校教育課長 (石川司)**

(平成 28 年度総合教育会議継続審議中の事項について)

**村長(長浜善巳)**

今の説明についてご意見のある方はお願いいたします。進行していきます。次に全国学力学習状況調査について事務局から説明をお願いします。

**主任指導主事 (稲福盛也)**

(平成 29 年度全国学力学習状況調査について)

**村長(長浜善巳)**

今の説明についてご意見のある方はお願いいたします。

**委員(吉山佳子)**

数値に振り回されないでということで前回の定例会でも説明をしていただきました。やはり何かテスト等があってそれを分析することの大切さ、資料を正しく解釈することの大切さを学ばせて頂いてすごくよかったと思います。これからもよろしくをお願いします。

**村長(長浜善巳)**

先生からもありましたが、点数に一喜一憂するのではなく、子どもたちのがんばりを見ていきましょうということで、すばらしい子どもたちの成果にもなっているのではないかと思います。着実にいい方向に進んでいると思いますので、先生方、教育委員会よろしくお願ひしたいと思います。それでは進めてよろしいでしょうか。次に不登校児童生徒の状況について事務局から説明をお願いします。

**指導主事 (永川幸徳)**

(不登校児童生徒の状況について)

**SSW (比嘉春奈)**

(不登校児童生徒の状況について補足説明)

**村長(長浜善巳)**

今の説明についてご意見のある方はお願いいたします。進行します。

**施設係長 (大城保洋)**

(中学校統合の進捗状況について)

**村長(長浜善巳)**

今の説明についてご質問のある方はお願いいたします。進行します。本日付議されました議案 3 件について全て審議を終了いたしました。引き続き事務局から周知事項はありますでしょうか。では閉

会にあたりあいさつを申し上げたいと思います。今回の総合教育会議においては、中学校統合に向けた準備室の設置について及び喜瀬武原幼稚園の休園についての2件を提案いたしました。今後においても教育委員会における課題、村における課題を連携して提案していきたいと思いますので今後ともよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。

**閉会：11時30分**